取扱説明書

日立工機

パルスジェット形

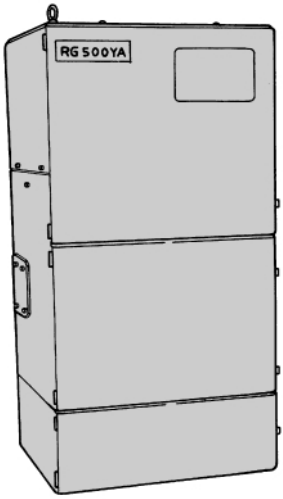
日立産業用集じん機

一般粉じん用

HITACHI PULSE JET DUST COLLECTOR

RG 500YA

このたびは日立産業用集じん機をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



目　次

	ページ
注意していただきたいこと	1・2
各部の名称	3
操作パネルの説明	4
据え付け	5～8
ご使用前に	8
ご使用後に	9～11
表示選択スイッチの操作方法	12～14
アラームランプの表示について	15
仕　様	16
別売部品	17
アフターサービスについて	18
構造図、部品表	19・20
接続図	21
保守点検チェックリスト	22

⚠警告 、⚠注意 、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。また、「注」の意味も説明します。

⚠警告 ： 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ： 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 ： 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

注意していただきたいこと

- **火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる各項目を必ず守ってください。**
- **ご使用前に、この「注意していただきたいこと」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠ 警 告

1. 次のものは絶対に吸わせないでください。

火災や故障の原因になります。

ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料などの引火性のもの

高速切断機、ベルトサンダー、グラインダーなどから発生する粉じん

溶接、はんだのヒューム

アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタンなどの爆発性粉じん

火のついた吸いがら、マッチなど高温度のもの

薬品、水、油や塗料、セメント粉など粘着性のもの、カーボン粉じん、5 μm以下の微細な粉じん

2. 使用電源は、銘板に表示してある電圧・周波数で使用してください。

表示以外の電源を使用すると、感電・火災や故障の原因になります。

3. 必ずアース（接地）してください。

故障や漏電などのとき、感電の恐れがあります。（詳細は、5ページの「①アース・漏電しゃ断器の設置について」の項をご参照ください。）

••• 注意していただきたいこと

⚠ 警　告

4. 本機は屋内用です。決して屋外で使用しないようにしてください。
5. 集じん機の運転状況（異常音、粉じん吹出し、発煙など）に十分注意しながらご使用ください。
6. 集じん機の修理は、専門店に依頼してください。
   - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
   - 修理は、必ずお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
     修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

⚠ 注　意

エアーパルスをかける前に必ず点検を

クランプがはずれた状態では運転スイッチおよび手動パルススイッチを押さないでください。

粉じんの飛び散りや、ドアによる事故防止のためです。

圧縮空気は指定の圧力で使用

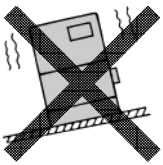
圧縮空気の圧力は、0.39〜0.69MPa{4〜7kgf/cm²}のものを使用してください。

指定以外の圧力を使用しますと、エアータンク破損や電磁弁故障の原因になります。

フィルタは正規なものを正しくセット

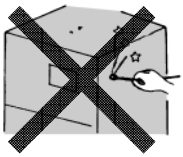
フィルタが破れていたり、穴があいていたり、外れたままで使用しますと、集じん機故障の原因になります。

設置は水平な場所に



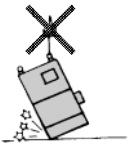
振動、転倒の原因になります。

電源コードは大切に



コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。また、引っ張ったり、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。

本体の移動は正しく



吊りボルトは必ず2本共使用し、移動は静かに。本体破損の原因になります。

注 • 集じん機は、メンテナンスが不十分な場合、思わぬ事故や故障の原因になります。巻末の保守点検チェックリストをご活用いただき、本機を安全かつ有効にご使用ください。

各部の名称

操作パネル

●各スイッチの説明は、4ページを参照してください。

吐　出　口

モ　ー　タ　ー

フ　ァ　ン

エアータンク

電　磁　弁

パルスパイプ

パネルカバー

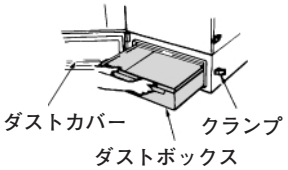
フィルタカバー

ダストカバー

エアーフィルタ

●本体の圧縮空気接続口に付属のエアーフィルタを取り付け、エアーフィルタにエアーチューブを接続してください。
（圧力0.39～0.69MPa{4～7kgf/cm²}）

ダストボックス

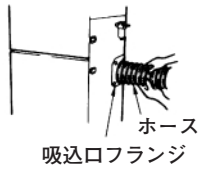


●クランプを外してダストカバーをあけ、ダストボックスを引き出し、ダストボックスにたまった粉じんを、早めに捨ててください。
●ダストボックスの外にこぼれた粉じんは、本体外へかき出してください。

フィルタ

●吸込んだ粉じんを効率良く捕集します。
●1～2ヵ月に1回以上定期的に清掃と点検が必要です。

吸込口



●ホースをつないでください。
（内径200㎜）

操作パネルの説明

表示選択スイッチ

●フィルタ差圧、ダスト排出までの時間、フィルタ点検までの時間、風量を表示させるときに押します。

デジタル表示部

●表示選択スイッチで選択した内容を表示します。

アラーム表示部

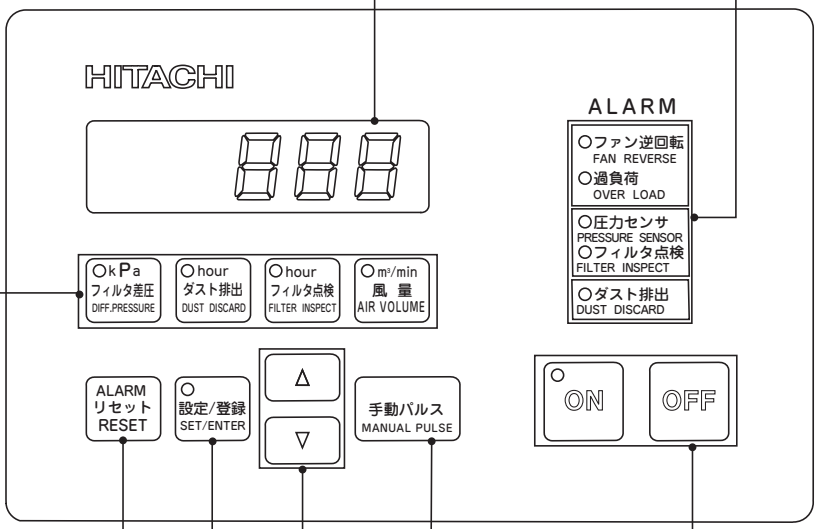
●異常や点検時期をランプがお知らせします。

①三相電源が逆相に結線されると ファン逆回転 となり、運転できません。

②モーターに 過負荷 がかかったときは運転を停止します。

③ 圧力センサ の配管に異常があるとお知らせします。

④フィルタ点検、ダスト排出時期をお知らせします。



アラームリセットスイッチ

●アラーム表示部に警告ランプが点灯したとき、点灯原因を取り除いた後にこのスイッチを押して運転を開始する準備をします。

設定/登録ボタン

●設定値を変更／登録したいときに使用します。詳細は12ページを参照してください。

設定値変更ボタン

●設定値をアップボタン／ダウンボタンにより任意に変更できます。

手動パルススイッチ

●手動でパルスによる除じんが可能です。

●運転停止後、手動パルスをかけるとより効果的に粉じんを落とします。

運転スイッチ

●ファンの運転・停止スイッチです。

据　え　付　け

① アース・漏電しゃ断器の設置について

⚠ 警　告

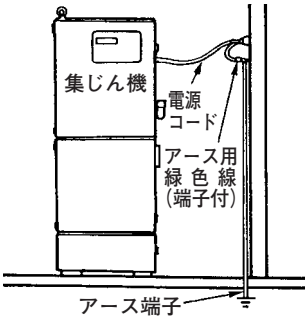
万一漏電した場合の感電事故を防ぐため、
- **本機が接続される電源に、漏電しゃ断器を設置してください。**
- **本機は、必ずアース（接地）してご使用ください。定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器の設置されている電源でお使いになる場合でもより安全のためにアース（接地）されるようおすすめします。**

設置は次の要領で行なってください。

アースについて

● 電源コードのアース用緑色線先端のアース端子を、ネジ締めして、右図の通りアース線に接続してください。

● アース用緑色線に張力が加わることがないようにしてください。



設備の工事について

● アース設備および漏電しゃ断器に関する工事は、電気設備技術基準および内線規定にしたがった専門工事が必要です。
（接地工事は電気工事士の資格が必要ですので、電気工事店にご相談ください。有料）

アース工事をされる方へ

○ アースは第3種接地工事をしてください。
○ 既設のアース端子がある場合は、アース性能が十分か確認してください。

漏電しゃ断器工事をされる方へ

○ 漏電しゃ断器は、電動機保護用（モータブレーカ）で定格電流25A以上のものを設置してください。
○ 既設の漏電しゃ断器がある場合は、上記性能を確認してください。

② 電源コードの延長

⚠ 警　告

- **コード延長の際、コードの継ぎ足しは、火災・感電の恐れがあるので、必ず新しいコードに取替えてください。**

● 設備の関係で、コードを延長される場合は、電圧降下による動作不良を防止するため、コードは十分な太さのものが必要になります。右表に、コード太さに対する最大長さ（コード全長）の関係を示します。
（付属のコードは、5mになっております。）

コード線の最大長さの目安

コード太さ ＼ コード長さ	コードの導体公称断面積（mm²）		
	2.0	3.5	5.5
最　大　長　さ	15 m	27 m	42 m

注 • 上表に示すコード長さは、電源事情により若干異なります。
延長が必要な場合は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにご相談のうえ、作業をご用命ください。

③ 据え付け場所

⚠ 警　告

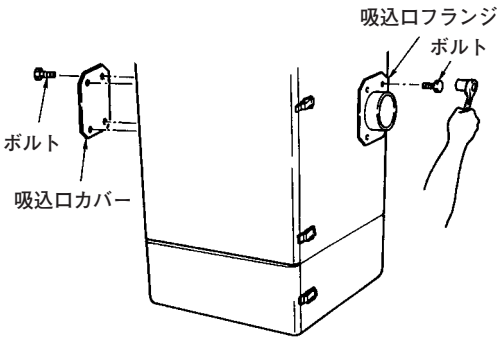
• 本機は防爆構造ではありません。万一の事故に備え、ガソリン・シンナーなどの引火性物質の近くでは使用しないでください。
• 本機は屋内用です。決して屋外で使用しないようにしてください。
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

● 床面は、水平で、平らな作業しやすい場所を選んでください。
● 製品質量（205kg）を考慮し、十分な床面強度を確保してください。

④ ホースの取付け

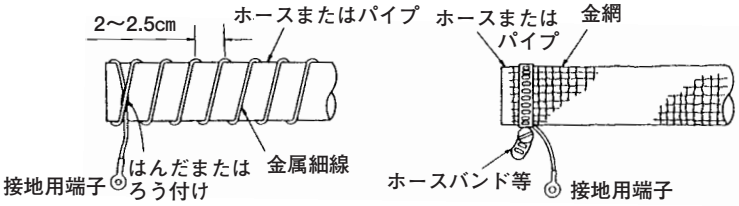
● 吸込口は2面に設けてあります。
次の要領で、作業条件に合わせ、任意に使い分けてください。

○ 吸込口を外す場合は、吸込口フランジの4本のボルトを外して行なってください。
○ 吸込口を取付ける場合は、吸込口フランジを位置決めし、ボルト締めして取付けてください。
○ 不用な吸込口には、吸込口カバーを取付けてください。



●●● 据　え　付　け

注 • 静電気による粉じんへの着火及び人体への電撃を防止するため、絶縁性のホースやパイプはアースすることをお勧めします。（5ページの「アースについて」の項もご参照ください）

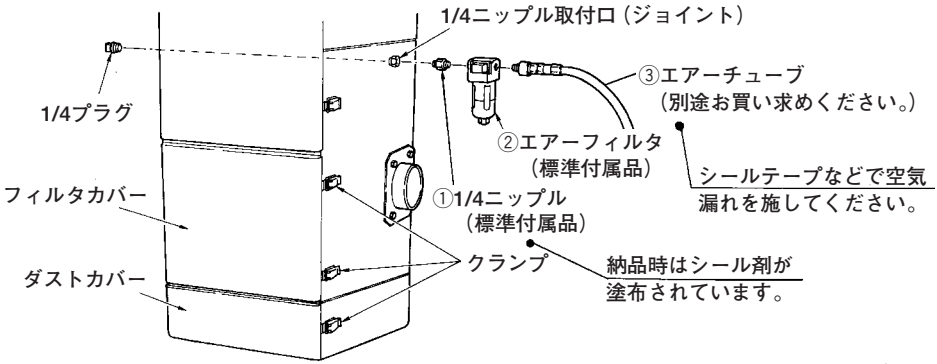


例1　金属細線によるアース　　例2　金網によるアース

- ホースやフードの配管は、周囲条件、作業環境などを考慮し、最も損失の少ない適正な作業が必要です。別売部品をご利用のうえ、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに、作業をご用命ください。
- 金属配管部品を使用されるときは、壁面および壁面内の金属との間を絶縁してください。
- 据え付け直後や除じん後に吐出口から多少の粉じんの吹き抜けがあります。作業環境によっては、排気ダクトの取付けをおすすめします。

⑤ 圧縮空気の接続

● 圧縮空気取付口は2面に設けてあります。
次の要領で、作業条件に合わせ、任意に使い分けてください。



○ 圧縮空気を接続する際は、①1/4ニップル　②エアーフィルタ　③エアーチューブの順に接続してください。
○ エアーチューブを接続しない側のジョイントには、1/4プラグがしっかりと固定されていることを確認してください。

注
- 本体運転は、上記の接続が確実に行なわれていることを確認し、さらにパネルカバー、フィルタカバー、ダストカバーがクランプで固定されていることを確認してから行なってください。
- 圧縮空気は、指定の圧力〔0.39～0.69MPa{4～7kgf/cm²}〕のものを使用してください。指定以外の圧力を使用しますと、エアータンク破損や電磁弁故障の原因になります。
  (1/4プラグ、1/4ニップルは一度取りはずしたら、シールテープなどで空気漏れを施してください。)

ご使用前に

① 先ず、次の確認を

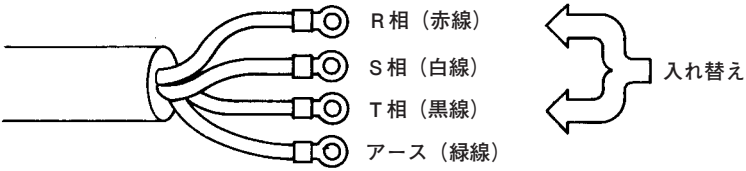
- ダストボックス内がからになっていることを確認してください。
  もし、粉じんがたまっていたら、清掃をしてからご使用ください。
- ダストボックスのパッキング部、吸込用ダクトホース、その他の配管に空気もれがなく、正常に取付いていることを確認してください。
- パネルカバー、フィルタカバー、ダストカバーがクランプで確実に固定されていることを確認してください。

② 電源コードの接続

- 電源コードは、銘板に記載してある電源に、正しく接続してください。この際、電源3線中の接地してある相(S相)を電源コードの白線に接続してください。

③ モーター回転方向の確認

- 操作パネルの運転スイッチ ON を押し、アラーム表示部の ファン逆回転 ランプが点灯しないことを確認してください。逆回転の場合はランプが点灯し、モーターは回転しません。
  この際は、必ず設置元の主電源を切断してから、電源コードのR相とT相を接続替えしてください。
  なお、再運転する際は、アラームリセットスイッチを押した後、運転スイッチを押してください。



ご使用後に

① フィルタの除じん

● 運転停止後の手動パルスは、より効果的に粉じんを落とします。
パルス動作時には、3回のパルス音がでますので、ご注意ください。また、運転停止後の手動パルスは粉じんが逆流しますので、吸込口などをのぞき込まないでください。

注 • 以下の項目は、必ず運転スイッチをOFFにし、主電源をOFFにして、完全に吸込みが停止してから行なってください。

② ダストボックスの清掃

⚠ 警　告

• ダストボックス内にたまった粉じんは、必ず毎日捨ててください。次の運転時に粉じんが吹き上げられフィルタに再付着するだけでなく、粉じん爆発の恐れのある粉じん雲の発生原因になります。

● フィルタの除じん操作後1分以上待ってから、クランプ1コを外し、ダストボックスを引き出して、たまった粉じんを捨ててください。
● 粉じんは、早めに捨てるようにし、また、ダストボックス外にこぼれた粉じんも、本体外へかき出してください。

⚠ 警　告

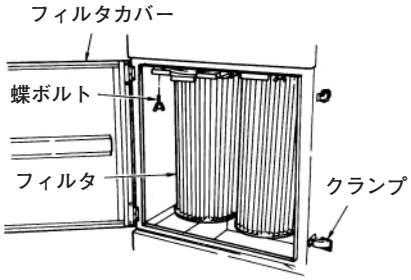
• 操作パネルのデジタル表示部に P マークが表示されている間は絶対にパネルカバー、フィルタカバー、ダストカバーを開けないでください。また、粉じん吸込口をのぞき込むこともしないでください。粉じんが飛散する恐れがあります。

③ フィルタの洗浄および点検

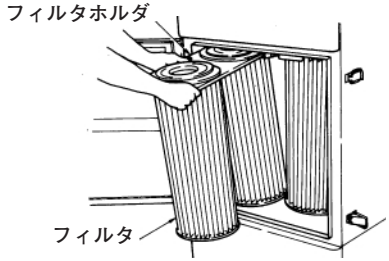
● フィルタは、目詰まりがひどくなると、パルスによる除じん操作だけでは除じんが完全でなく、吸込力が低下します。
定期的(1～2ヵ月に1回以上)に、洗浄してください。

○ フィルタの取出し方

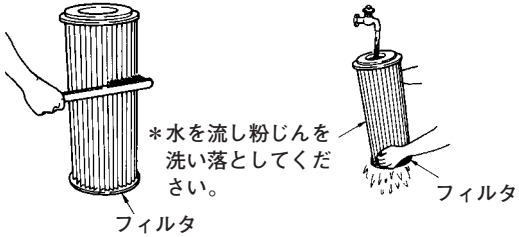
①2コのクランプを外し、フィルタカバーをあけます。



②蝶ボルトを外し、フィルタをフィルタホルダと一緒に静かに引き出します。



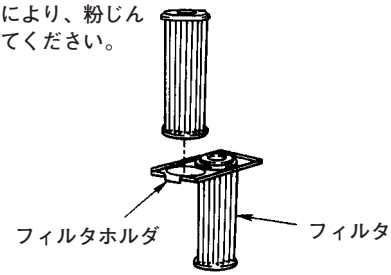
注
- フィルタは消耗品となりますので予備品を準備されることを、お勧め致します。
- フィルタは、次のようにブラッシング、または水洗いし、目詰まりした粉じんを取り除いて吸込力の回復をはかり、性能を保持するようにしてください。なお、水洗い後は陰干しして十分乾燥させてから使用してください。
- 水洗い時には、粉じんの種類により、廃液の処理にご留意ください。



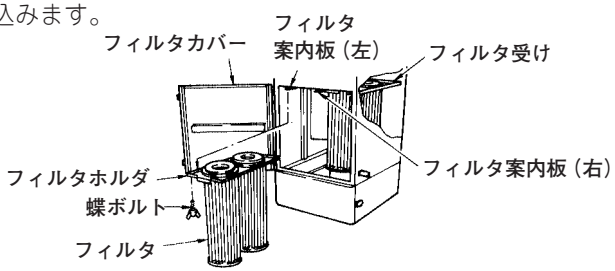
＊ブラシなどにより、粉じんをかき出してください。

○フィルタの取付け方

①まず、フィルタホルダにフィルタを挿入してください。フィルタはフィルタホルダ1コにつき2コです。フィルタは必ず垂直に挿入してください。



②フィルタは、フィルタホルダを左と右のフィルタ案内板に乗せ、フィルタ受けに当たるまで押し込みます。



③次にフィルタホルダの手前を持ち上げ、蝶ボルトでフィルタ支え板に当たるまで確実に締めつけます。
蝶ボルトを締める際、ネジが合わない場合はフィルタホルダの押し込みが足りませんので確実に押し込んでください。

⚠ 警　告

- **フィルタは正しく取付けて使用してください。**
  フィルタをはずしたまま使用したり、取付け位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。粉じんがモーター内に入り、モーター焼損などの故障の原因になります。

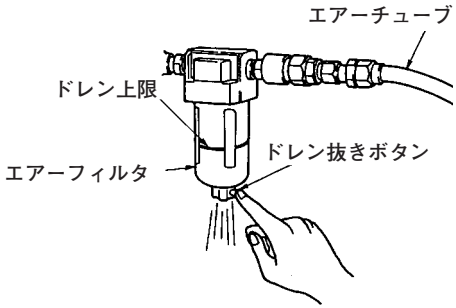
●●● ご使用後に

④ エアーフィルタのドレン抜き

⚠ 警　告

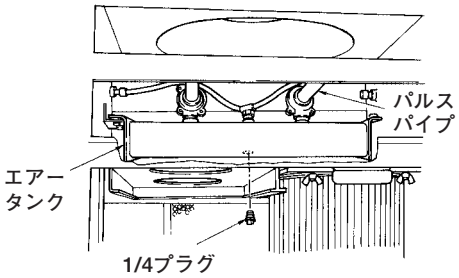
- 作業時は、保護メガネを使用してください。ドレン液が飛散します。

● 作業終了後、または作業前にドレン上限表示を目安にして定期的に1日1回以上、エアーフィルタのドレン抜きをしてください。



⑤ エアータンクのドレン抜き

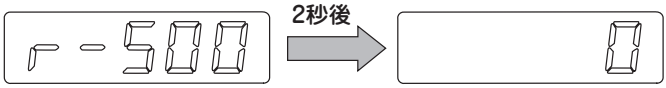
注
- 作業終了後、ファン回転が停止するのを確認します。エアーチューブをはずして、エアータンク内にたまった圧縮空気を吐き出した後、ドレン抜きをしてください。
- 1/4プラグをはずす際は、下に受け皿を用意してからドレン抜きをしてください。
- 1年に1回以上定期的なドレン抜きが必要です。
- フィルタにドレン液がかからないようにご注意ください。



表示選択スイッチの操作方法

主電源を入れると、デジタル表示部には、次のような文字または数字が表示されます。

形名（RG500YA）の略号が表示



次に、ON を押し、集じん機の運転が始まると、現在のフィルタ差圧値が表示されます。

● 各スイッチの名称については、4ページを参照してください。

① フィルタ差圧スイッチの使い方

<フィルタ差圧とは>

粉じんを吸引すると、徐々にフィルタが詰まってきます。その詰まり具合を数値で示したものです。

● 本機はあらかじめ設定した差圧値に達すると、自動的にパルスがかかり、フィルタに付着した粉じんを落とすようになっています。

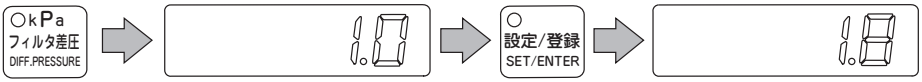
● 差圧設定値は、工場出荷時1.8kPa{184mm水柱}となっていますが、設定値を変更する場合は、次のようにしてください。

1 フィルタ差圧スイッチを押す（スイッチ部左上のランプが点灯）

2 現在のフィルタ差圧値を表示します。

3 押す（設定開始）

4 現在の設定値を表示します。（0.5～3.0kPa{51～306mm水柱}まで設定できます。）

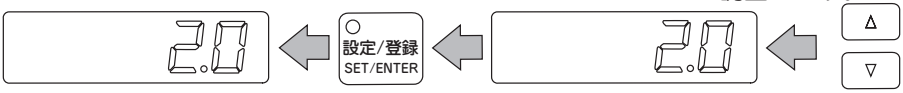


5 設定合わせスイッチ（アップ／ダウンスイッチ）を押し、設定値を調整します。

6 0.1kPa{10mm水柱}刻みで設定値が変わります。

7 押す（設定完了）

8 設定値の文字が点滅し、登録完了を示します。



● 登録が完了すると、設定値が点滅してお知らせします。

● 登録完了数秒後、デジタル表示は自動的にフィルタ差圧表示になります。

● 特に付着性の高い粉じんを吸引する場合は、設定値を下げ早めに除じんすることが効果的です。

••• 表示選択スイッチの操作方法

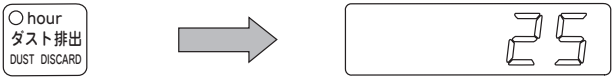
② ダスト排出時間の使い方

このスイッチは、ダスト排出までの残り時間を表示するスイッチです。
（工場出荷時は、25時間に設定してありますが、粉じん量が多い場合は、低く設定し直してください。）

● ダスト排出までの時間を表示する場合は、次のようにしてください。

1 ダスト排出スイッチを押す
（スイッチ部左上のランプが点灯）

2 ダスト排出までの時間が表示されます。



注
- ダスト排出までの時間を表示中にアラームリセットスイッチを押すと、残り時間がリセットされ、初期の設定値に戻りますので注意してください。
- ダストボックス内に溜った粉じんは早めに捨てるようにしてください。フィルタの目詰まり、吸引力などにより風量低下の原因になります。

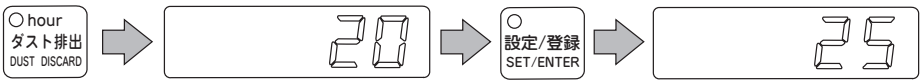
● ダスト排出までの時間を変更する場合は、次のようにしてください。

1 ダスト排出スイッチを押す
（スイッチ部左上のランプが点灯）

2 現在のダスト排出時間を表示します。

3 押す（設定開始）

4 現在の設定値を表示します。
（1～99時間まで設定できます。）

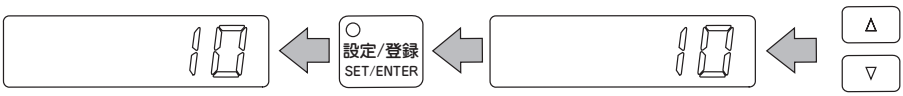


5 設定合わせスイッチ（アップ／ダウンスイッチ）を押し、設定値を調整します。

6 1時間刻みで設定値が変わります。

7 押す（設定完了）

8 設定値の文字が点滅し、登録完了を示します。



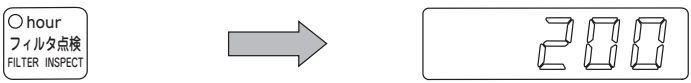
● 登録が完了すると、設定値が点滅してお知らせします。
● 登録完了数秒後、デジタル表示は自動的にフィルタ差圧表示になります。

③ フィルタ点検時間の使い方

● このスイッチは、フィルタ点検まで残り何時間かを表示するスイッチです。

1 フィルタ点検スイッチを押す
（スイッチ部左上のランプが点灯）

2 フィルタ点検までの時間が表示されます。



注 • フィルタ点検までの時間を表示中にアラームリセットスイッチを押すと、残り時間がリセットされ、初期の設定値に戻りますので注意してください。

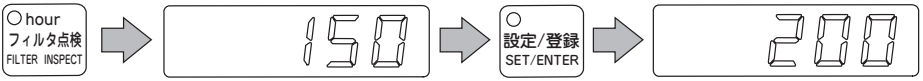
● 工場出荷時は、200時間に設定してありますが、粉じんの量や種類により、フィルタ破れ、穴あきを点検する必要があります。
● フィルタ点検までの時間を変更する場合は、次のようにしてください。

1 フィルタ点検スイッチを押す（スイッチ部左上のランプが点灯）

2 現在のフィルタ点検時間を表示します。

3 押す（設定開始）

4 現在の設定値を表示します。（10～1000時間まで設定できます。）

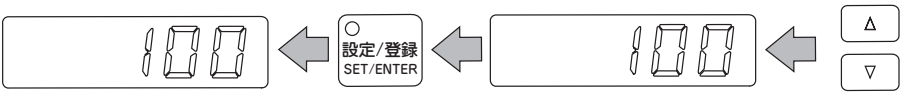


5 設定合わせスイッチ（アップ／ダウンスイッチ）を押し、設定値を調整します。

6 10時間刻みで設定値が変わります。

7 押す（設定完了）

8 設定値の文字が点滅し、登録完了を示します。



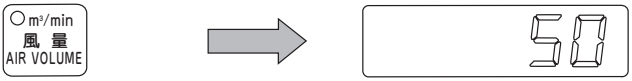
● 登録が完了すると、設定値が点滅してお知らせします。
● 登録完了数秒後、デジタル表示は自動的に差圧表示になります。

④ 風量スイッチの使い方

● 風量を表示する場合は、次のようにしてください。

1 風量スイッチを押す（スイッチ部左上のランプが点灯）

2 風量が表示されます。



注 • デジタル表示部に表示される数値は、多少の誤差が生じる場合がありますので、ご了承ください。

アラームランプの表示について

異常ランプ	①**ファン逆回転**…… モーターが逆回転するとモーターが自動的に停止し、ファン逆回転ランプが点灯します。8ページの要領で電源コードを接続し直してください。 ②**過負荷**…… モーターが過負荷になった時、モーターが自動的に停止するのと同時に過負荷ランプが点灯します。また、欠相接続で運転しようとすると過負荷ランプが点灯します。 ③**圧力センサ**…… 圧力センサの配管に異常がある場合は、圧力センサランプが点灯します。 ● **②、③の異常ランプが点灯したときは、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご相談ください。**
点検ランプ	①**フィルタ点検**……設定したフィルタ点検時間に達すると、フィルタ点検ランプが点灯します。また、パルス除じんが連続して4～5サイクル作動後、フィルタ差圧設定値まで回復しない場合もフィルタ点検ランプが点灯します。 ②**ダスト排出**…… 設定したダスト排出時間に達すると、ダスト排出ランプが点灯します。

- **異常ランプが点灯したときは、異常の原因を取り除いた後、アラームリセットスイッチを押して運転スイッチをONにすれば再運転ができます。点検ランプは、アラームリセットスイッチを押せば、再運転できます。**
- **フィルタ点検までの時間およびダスト排出までの時間を表示中にアラームリセットスイッチを押すと、残り時間がリセットされ、初期の設定値に戻ります。点検ランプが点灯する前にアラームリセットスイッチを押したときは、フィルタの点検作業・ダストボックス内の粉じんを捨てる作業を忘れずにしてください。**

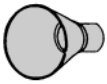
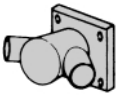
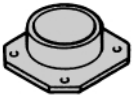
仕　　様

電　　源	三相交流 200V 50Hz または 200V 60Hz 専用
電　　流　A	12
モーター定格出力　W	2200
最大風量　m^3/min	50
最大真空度　kPa{mm水柱}	2.65{270}
フィルタ面積　m^2	13.5
除じん方式	目詰まり検知自動パルスジェット
圧縮空気圧力 MPa{kgf/cm^2}	0.39～0.69{4～7}
圧縮空気標準使用量　L/min	21
ダストボックス容量　L	46
ホース取付径　mm	200
電源コード長　m	5
質　　量　kg	205
<概略寸法> 幅×奥行×高さ　mm	800×650×1605

注 • 最大風量・真空度は、接続される配管の長さ、太さなどで大きく変化します。

別 売 部 品

集じん機をお買い求めの販売店にお問い合わせください。

名	称	コードNo.
●ホース	φ150 ホース φ200 ホース	301409 301410
●丸フード 	φ150 丸フード φ200 丸フード	301399 301400
●フランジ付二又分岐管 	φ200 フランジ付二又分岐管	301413
●吐出口 	φ250　吐出口	301425
● φ100キャスタ （4コ入り）	―――	301445

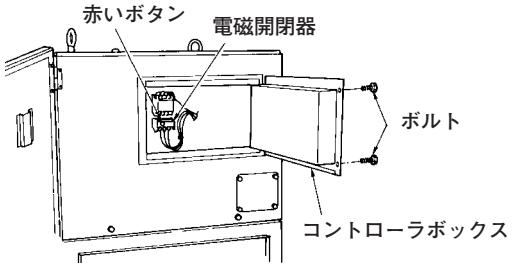
アフターサービスについて

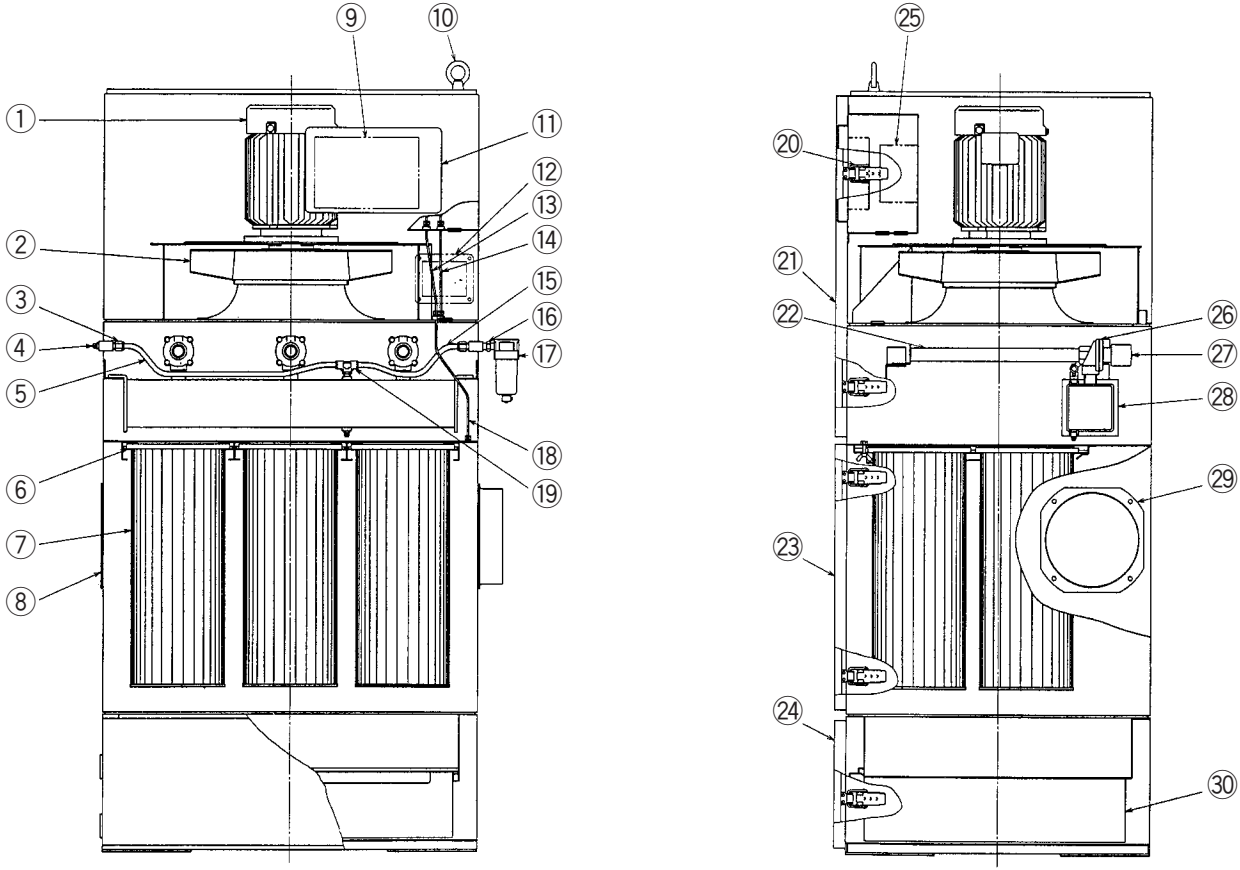
使用中に異常が生じたときは

⚠ 警　告

- **修理を依頼される前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、下表の点検をしていただき、それでも不具合な場合はご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご相談ください。**

● **アフターサービスについてご不明の場合、その他のお困りの場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。**

こんなときは	点検となおしかた
モーターが回らない。 （まったく吸込まない）	● 電源コードが外れていないかどうか点検してください。 ● 過負荷ランプが点灯する場合は、欠相運転またはその他の原因ですので、すぐに主電源を切って、電気工事専門家に点検を依頼してください。
運転中にモーターの回転が止まり、過負荷ランプが点灯する。	● M6ボルトを2コはずし、コントローラボックスを手前に回転させると電磁開閉器があります。  ● 電磁開閉器のサーマルリレーが作動していないか確認してください。サーマルリレーが作動している場合は、作動した原因を除去したのち、電磁開閉器の赤いリセットボタンを押してください。
吸込力が弱い。	● フィルタの除じんとダストボックス内の粉じんを捨ててください。 ● ホース内や吐出口金網部にごみがつまっていたら取り除いてください。 ● ダクトホースのつなぎ目にすきまがないかどうか、また、前面ドアがクランプで完全に固定されているかどうかを点検してください。
排気と共に粉じんが吹き出す。	● フィルタが破れていたり、正しく取付けられているかどうか点検してください。

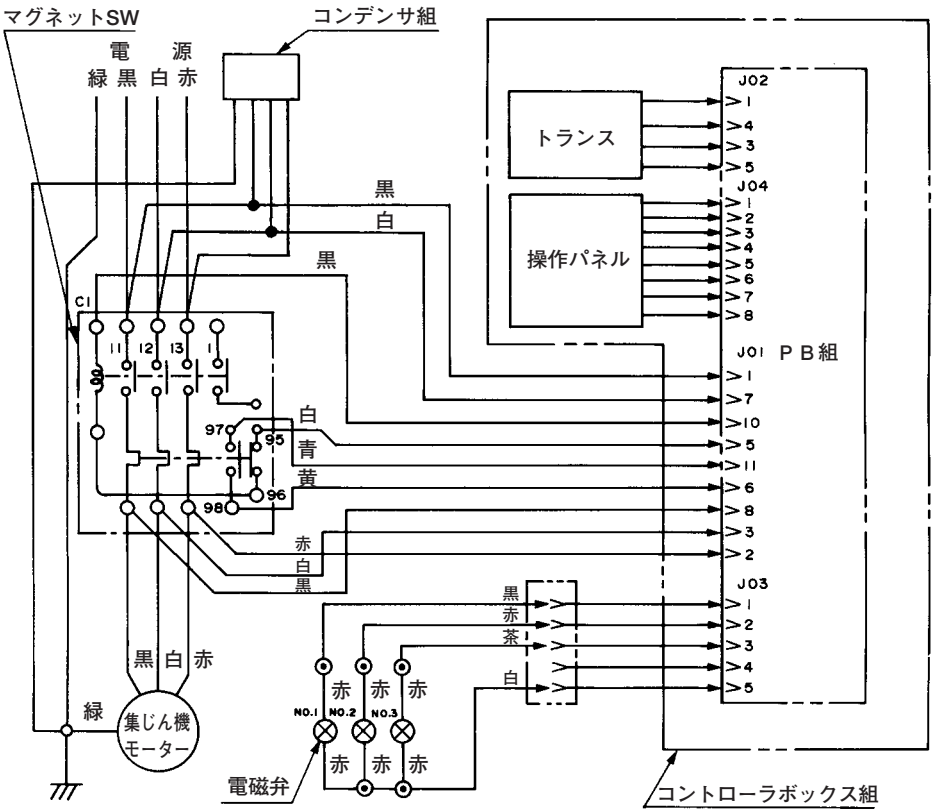


RG 500YA構造図

部　品　表

品番	部　品　名	1台分使用数量	備　考
1	2200Wモーター	1	
2	2200Wファン	1	50 Hz用
			60 Hz用
3	チューブコネクタ（B）	2	
4	1/4プラグ	2	
5	D10チューブ	2	
6	フィルタホルダ	3	
7	フィルタ	6	
8	吸込口カバー	1	
9	PB組	1	
10	アイナット	2	
11	コントローラボックス組	1	
12	モータケースプレート組	1	
13	チューブ（W）	1	
14	チューブ（R）	1	
15	D10チューブ	1	
16	1/4ニップル	1	
17	エアーフィルタ	1	
18	チューブ（W）	1	
19	チューブコネクタ（A）	1	
20	クランプ	5	
21	パネルカバー	1	
22	パルスパイプ	3	
23	フィルタカバー	1	
24	ダストカバー	1	
25	電磁開閉器	1	
26	ダイヤフラム弁	3	
27	電磁弁	3	
28	エアータンク	1	
29	吸込口フランジ	1	
30	ダストボックス	1	

接 続 図


マグネットSW
コンデンサ組
電 源
緑 黒 白 赤
トランス
操作パネル
J02
J04
J01 ＰＢ組
J03
黒
白
黒
C1
11 12 13 1
97
95
96
98
白
青
黄
赤
白
黒
黒
赤
茶
白
黒 白 赤
緑
集じん機
モーター
赤 赤 赤
NO.1 NO.2 NO.3
赤 赤 赤
電磁弁
コントローラボックス組

一般粉じん用集じん機保守点検チェックリスト

保守点検項目 ＼ 月／日			／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
日常点検	作業前	ダストボックス（引出し）の中がカラになっているか。																												
		アースが正しく接続されているか。																												
		運転音に異常がないか。 運転時に異常な振動がないか。																												
	終了後	エアーフィルタのドレン抜き。																												
		ダストボックス内の粉じんを捨てる。																												
月例点検		フィルタを取り出し、清掃（水洗い）フィルタに破れがないか確認。																												
		絶縁抵抗測定（電源線と集じん機枠体間の抵抗は、1MΩ以上あるか）																												
		配管部、ホース内、吐出口金網部などへの粉じん堆積物の除去。																												
年次点検		フィルタの交換。内部清掃。 エアータンクのドレン抜き																												

1. 点検した項目毎に「√」をつけてください。
2. 点検の際は、取扱説明書を良く読んでから実施してください。
3. 異常時は、保守責任者に報告してください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

第一営業部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟）	☎(03) 5783-0626㈹
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目（日生ビル）	☎(011) 271-4751㈹
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号	☎(022) 288-8676㈹
東京支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟）	☎(03) 5783-0629㈹
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル）	☎(052) 262-3811㈹
北陸支店	〒920-0031	金沢市広岡二丁目13番37号（ST金沢ビル）	☎(076) 263-4311㈹
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号（スノークリスタル）	☎(06) 4796-8451㈹
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号（第一生命ビル）	☎(082) 228-0537㈹
四国支店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981	☎(087) 841-6191㈹
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号	☎(092) 621-5772㈹

● 電動工具ご相談窓口 ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル　0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前9：00～午後5：00）

日立工機株式会社

212
部品コード　C99053805　N